

発刊にあたって

この度、根室市の水産業の現状を紹介する「令和3年度版 水産ねむろ」を発刊致しました。

当市は、北方海域の豊かな水産資源を背景に、北洋漁業の開拓とともに発展を遂げて参りましたが、度重なる国際漁業規制の強化等によって、沖合漁業は縮小を余儀なくされるなど、当市の水産業を取り巻く環境は大変厳しい状況にあります。

また、昨年を振り返りますと、道東太平洋沿岸で発生した大規模な赤潮によるウニ資源等への被害や、大宗漁業であるサンマ漁や秋サケ漁の漁獲不振など、依然として厳しい状況は続いておりますが、そうした中でも、当市においては、全国で過去最低を記録したサンマの水揚げ量が、全国で唯一前年を上回る結果となり、12年連続日本一を達成するなど、水産都市根室の底力を改めて実感したところであります。

市といたしましては、昨今の社会情勢や海洋環境等の変化による漁獲の動向に翻弄されない、安定的かつ持続可能な漁業生産体制の構築を喫緊の課題と捉え、新たに「根室市水産資源増大創造支援補助金」を創設し、市内漁協の沿岸資源増大に向けた取組みに対し側面的支援を行ったほか、令和4年度を「陸上養殖元年」と位置づけ、新たに「陸上養殖研究促進支援事業」を創設し、陸上養殖研究にチャレンジしやすい環境の整備を図るなど「つくり育てる漁業」の取組みを推進しているところであります。

また、根室市栽培漁業研究センターにおいては、赤潮により甚大な被害を受けたウニ資源の早期回復に向け、新たに放流用の種苗を増産するほか、「ハナサキガニ」や「ホッカイエビ」等の種苗の安定生産、「ベニザケ」・「タラバガニ」の養殖技術研究など、施設が有する機能を最大限に活用し、資源増大対策に取り組んで参ります。

今後とも、市内4漁協をはじめとした関係機関との連携を密にし、沿岸資源の増大対策を加速的に進め、「水産都市・根室」が将来にわたり、国内有数の水産物供給基地として役割を果たしていけるよう邁進して参ります。

本紙を通じて、当市水産業の現状をご理解いただき、今後とも当市水産業の発展に向け、お力添えを頂ければ幸いに存じます。

結びに、本紙作成に際し、ご協力頂いた関係団体の皆様に心より感謝申し上げます。

令和4年3月

根室市長 石垣 雅敏

